

1. 科目名 (単位数)	臨床心理学概論／臨床心理学 (4 単位)		3. 科目番号	SPMP2114
2. 授業担当教員	鈴木 康明			
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	臨床心理学として、その成り立ち、不適応や障害、病、苦悩の発生原因や発生過程、回復の過程を探る科学的側面と、問題を抱える人々に寄り添いながら、適応の調整や人格的成長を促進することで問題の解消や軽減を目指す実践的側面との両面を学ぶ。そのために、心理的援助を必要とする人々の心理を理解するだけでなく、問題を理解するアセスメントの視点から各発達段階に生じやすい心理的問題や障害を理解する。また、問題の解決に向かう代表的な援助の理論や技法について理解を深める。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患や発達障害を含めて、心理的問題を抱える人々の心理を理解し、説明できる。 2. 各発達段階における心理的課題や障害を理解し、説明できる。 3. 不登校・いじめ・虐待・自死・非行問題といった代表的な心理臨床の問題を理解し、説明できる。 4. 心理アセスメントの考え方や方法について理解し、説明できる。 5. 主要な心理的援助の理論と技法を理解し、説明できる。 6. スクールカウンセリングについて理解をし、説明できる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>○課題 レポート作成 2回 A4 (40字×40行) 2枚程度のものを作成し提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のある精神療法をとりあげ、概要とそれに対する自分の考えをまとめる。 ・臨床心理学はどのように社会に貢献できるかについて、自分の考えをまとめる。 			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】鈴木康明編著『はじめて学ぶ心理学』北樹出版 【参考書】松原達哉編著『図解雑学臨床心理学』ナツメ社 【資料】授業前に配布する。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患・発達障害を含めた心理的問題を抱える人の心理的理解 2. 各発達段階における心理的課題と障害の理解 3. 代表的な心理臨床の理解 4. 心理アセスメントの考え方や方法の理解 5. 主要な心理的援助の理論と技法の理解 6. スクールカウンセリングについての理解 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>レポート課題 40% 授業への参加 30% 発表 30% 以上で評価を行う。</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>本講義は心理学部の必修科目であり、また、公認心理師受験に必要な心理学基礎科目の一つである。そのため受講者が将来、心理臨床にかかわるであろうことを前提に、実践に役立つ思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目指している。この目的達成のため、受講者は次の事柄を遵守することを望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常に高い緊張感と集中力を保って受講し、自己鍛錬を怠らない。 2. 質問、発表を積極的に行い、主体性の形成に励む。 3. 欠席、遅刻、早退をしないことで自己管理能力をつける。 4. 勝手な退室や、講義に関係のない振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などをせず、常にセルフモニタリングにつとめる。なお、明らかに態度が悪いと判断された場合厳格な指導が行われる。その後も改善されない場合は全出席であってもF評価になることがある。また教員は次のことを実行する。 1. 講義の目的を明確にし、シラバスに沿って講義する。 2. 声の大きさや話し方など、受講者の聞きやすさ、わかりやすさについて配慮する。 3. 討議や演習など受講者が積極的に講義に参加できる環境を作る。 4. 受講者の質問には誠実に対応する。 5. 受講者が上記のメッセージ1～4が守らない場合、厳格に対処する。 			
13. オフィスアワー	授業内で伝える。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション ・学習の仕方 ・公認心理師について	事前学習	教科書 11 頁～20 頁を読んでおく。	
		事後学習	教科書 11 頁～20 頁をまとめる。	
第2回	1 臨床心理学の成り立ちについて ・臨床心理学とは何か ・内容	事前学習	教科書 91 頁～94 頁を読んでおく。	
		事後学習	教科書 91 頁～94 頁をまとめる。	
第3回	2 心理学的に人間を理解する ・感覚と知覚 ・情動と感情 ・動機づけと欲求	事前学習	教科書 21 頁～38 頁を読んでおく。	
		事後学習	教科書 21 頁～38 頁をまとめる。	
第4回	・学習 ・記憶	事前学習	教科書 41 頁～53 頁を読んでおく。	
		事後学習	教科書 41 頁～53 頁をまとめる。	
第5回	3 臨床発達心理学を学ぶ ・乳幼児期 ・児童期 ・青年期	事前学習	教科書 55 頁～72 頁を読んでおく。	
		事後学習	練習問題①	

第6回	・老年期 ・生涯発達	事前学習	教科書 55 頁～72 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 55 頁～72 頁をまとめる。
第7回	4 心理アセスメントとは ・性格と測定	事前学習	教科書 73 頁～81 頁、96 頁～101 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 73 頁～81 頁、96 頁～101 頁をまとめる。
第8回	・面接法 ・観察法 ・その他	事前学習	教科書 81 頁～86 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 81 頁～86 頁をまとめる。
第9回	・投映法	事前学習	教科書 86 頁～89 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 86 頁～89 頁をまとめる。
第10回	・質問紙法	事前学習	教科書 86 頁～89 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 86 頁～89 頁をまとめる。
第11回	6 心理的援助の理論と方法 ・精神分析的アプローチ①フロイトを中心に	事前学習	教科書 101 頁～108 頁、38 頁～40 頁を読んでおく。
		事後学習	演習問題②
第12回	・ : ②ユングを中心に	事前学習	教科書 101 頁～108 頁、38 頁～40 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 101 頁～108 頁、38 頁～40 頁をまとめる。
第13回	・行動論的アプローチ①行動療法	事前学習	教科書 41 頁～45 頁、108 頁～109 頁を読んでおく。
		事後学習	練習問題③
第14回	・ : ②認知行動療法を中心に	事前学習	教科書 41 頁～45 頁、108 頁～109 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 41 頁～45 頁、108 頁～109 頁をまとめる。
第15回	・ヒューマニスティック・アプローチ①来談者中心療法	事前学習	教科書 107 頁～108 頁を読んでおく。
		事後学習	練習問題③
第16回	・ : ②フォーカシングなど	事前学習	教科書 107 頁～108 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 107 頁～108 頁をまとめる。
第17回	・グループ・アプローチ	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第18回	・コミュニティ・アプローチ	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第19回	・アーツ・アプローチ① コラージュ療法：個人	事前学習	教科書 109 頁～114 頁を読んでおく。
		事後学習	練習問題④
第20回	・ : ② コラージュ療法：集団	事前学習	教科書 109 頁～114 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 109 頁～114 頁をまとめる。
第21回	・ : ③ 身体表現	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第22回	6 社会とのかかわり ・病気と災害 ・キャリア形成	事前学習	教科書 119 頁～124 頁、128 頁～136 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 119 頁～124 頁、128 頁～136 頁をまとめる。
第23回	・遺族支援①喪失の悲しみについて	事前学習	教科書 124 頁～128 頁を読んでおく。
		事後学習	練習問題⑤
第24回	・ : ②死別について	事前学習	教科書 124 頁～128 頁を読んでおく。
		事後学習	教科書 124 頁～128 頁をまとめる。
第25回	・スクールカウンセリング① 不登校	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第26回	・ : ② いじめ	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第27回	・ : ③ 自死自殺	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第28回	7 精神医学の理解 ・精神障害①統合失調症、うつ病など	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第29回	・ : ②心理的かかわりについて	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。
第30回	・発達障害	事前学習	配布資料を読んでおく。
		事後学習	配布資料をまとめる。